

「日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業」

我が国から発信する新たなオペラ作品をつくるため、その創作過程を重視したワークショップを実施し、日本語によるオペラ作品を創作するための人材育成を行ないます。

若手作曲家と若手台本作家の方々を育成対象者として募集いたします。

オペラの作曲経験豊富な作曲家・中村透、声楽家・郡愛子、そして気鋭の演出家・齊藤理恵子がファシリテータとなってワークショップを行い、3年かけて日本語によるオペラ作品を創作上演することを目標としています。

1. ワorkshopを実施、詩人や指揮者等のゲスト講師からのアドバイスの機会もつくり、オペラ創作の手法を具体的に学んでゆく育成事業です。
2. 初年度となる2018(平成30)年度は、1ヶ月に1回実施のワークショップで育成対象の作曲家と台本作家の複数のペアがそれぞれ作品の一場面を創り、年度末に試演会（歌手4名以内とピアノ伴奏による）を行ないます。
3. 韓国の創作オペラの第一人者で、創作人材の育成に実績を持つ李建鏞(イ・ゴニョン)も招聘し、アドバイスと指導等も行ないます。

- 応募資格
- ①作曲家 40歳前後まで
声楽作品、あるいはオペラに近い作品を創作した経験がある人材が望ましい。
 - ②台本作家 40歳前後まで
舞台芸術に興味がある作家等の人材、オペラ台本の舞台化に意欲のある人材が望ましい。
- ・日本語によるワークショップとなります。
 - ・ワークショップ全日程に参加が出来る事。
(3回目のワークショップ終了後、所定の提出課題による審査を行ないます。4回目以降は審査通過者のみのワークショップとなります)
 - ・育成対象者の方々には創作費として前半3回のワークショップで各回10,000円を支給。後半7回のワークショップで各回10,000円を支給いたします。
 - ・遠隔地にお住まいの方は規定の交通費（日本国内に限る）および9月ワークショップ時（2日間連続のワークショップ時）に宿泊施設を用意いたします。

応募方法 ホームページより応募書類を印刷し、下記の提出書類とともに5月25日（金）17:00までに、下記の方法で応募すること。

- ①作曲家 ・応募書類（写真貼付）
 - ・自作品（3作品以内、楽譜の他に音源があると望ましい〔CD〕）
- ②台本作家 ・応募書類（写真貼付）
 - ・これまでに書いた台本、シナリオ、小説。2作品以内。

ご自身が関わった公演などの記録（チラシやパンフレット）の
コピー

- (1) 窓口提出： 所定の応募用紙に必要事項の記入と写真貼付をし、5月25日
（金）17：00 までに昭和音楽大学演奏センター窓口に出す。
- (2) 郵 送： 所定の応募用紙に必要事項の記入と写真貼付をし、5月25日
（金）17：00 までに昭和音楽大学演奏センター必着で郵送。

応募後の連絡方法 応募者全員に主催者から応募確認のメール連絡をいたします。
必ず下記アドレスを受信できるように設定してください。
shinshin@tosei-showa-music.ac.jp

ファシリテータおよび審査員 中村透（メイン・ファシリテータ：作曲家）
郡愛子（声楽家）
齊藤理恵子（演出家）

李建鏞[イ・ゴニョン]（アドバイザー：韓国 作曲家）
その他ワークショップゲスト講師（未定）

馬場紀雄（コーディネーター：オペラ演出家）

ワークショップ日程（会場：昭和音楽大学 南校舎もしくは北校舎）

- ①6月8日（金）13：00～18：30（内14：00～16：30 公開講座）
「日本のオペラ作品をつくる」第1回 公開講座
『アジアからの創作の潮流』～音楽と言葉と向き合うために～
講師：李建鏞[イ・ゴニョン] 世宗カメラータ創始者
進行：中村 透（作曲家）
齊藤 理恵子（演出家）
郡 愛子 （声楽家）

音楽と手を携える台本との適切な距離とは。音楽と言葉と、さらにドラマとしてのオペラのあり方を問いか
けたい～こうした思いを実現するためのプロジェクトを始動します。

人間の心理描写を通じて、オペラで現代社会のリアリティを映し出す～そのための作劇法と作曲技法を追
求しながら、真のドラマづくりを目指す若い創造者達を育てます。プロジェクトのキックオフとして開催
する第1回の公開講座では、本プロジェクトのファシリテータを中心に、韓国で先駆的な創作人材の育成
活動を行っている「世宗カメラータ」の成果を把握したうえで、今後のプロジェクトの方向性を共有しま
す。

②7月13日（金）13：00～17：00 ③8月24日（金）13：00～17：00

④以降は審査通過の参加者のみとなります。

④⑤9月27日、9月28日、9月29日（9/27.28もしくは9/28.29のいずれか）

⑥10月26日（金） ⑦11月30日（金） ⑧12月21日（金） ⑨2月15日（金）

⑩3月15日（金）試演会（公開）